（別紙３）

公表　児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもたちの窓Solana(ソラナ：ひだまり)			
○保護者評価実施期間	令和 8 年 9 月 1 日	～	令和 8 年 9 月 30 日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	4名	（回答者数）	3名
○従業者評価実施期間	令和 8 年 9 月 1 日	～	令和 8 年 9 月 30 日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	17名	（回答者数）	17名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8 年 11 月 10 日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・イベント特化型	・自然とのふれあいやラフティング、スイカ割り、ハロウィンパーティー、クリスマス会、クッキング、親子参加型イベントなど年間を通してたくさんのイベントを開催しています。 イベントを通して感性を育み、協調性を養い、自信へと繋げていきます。また草木(植物)や動物、生き物とのふれあいから命の大切さや、食べ物のありがたみを感じていただけるよう工夫して取り組んでいます。	・今後は利用者様の自立に向けたイベント、将来に役立つ、為になるイベントを企画していきたいと考えております。 ・親子で楽しめるイベントも増やしていきたいと思います。
2	・専門的カリキュラムの充実	・書道や英語、プログラミング、野球、サッカー、ヨガと毎週違った内容のカリキュラムを実施しています。専門の先生をお招きして実施している内容もございます。どれも楽しみながら身に付けることができるよう取り組んでいます。	・利用者様の特性に見合った個別の内容を充実していきたいと考えております。 ・参加されていない利用者様にも楽しさを伝え、参加者を増やしていきたいと思っております。
3	・ピアサポート企業 ・両立支援事業所	・当事業所には、障がいのある当事者である「ピアサポーター」が在籍しています。同じ経験を持つピアサポーターは、自らも障がいを抱えながら生活しているため、利用者様の気持ちや悩みを深く理解し、共感することができます。 ・両立支援事業では、障がいのある方、病気と向き合いながら働く方、ご家族の介護や子育てを担う方など、一人ひとりの状況に合わせた働き方を提供しています。 テレワークや時短勤務、 必要に応じて、医療機関や福祉サービスなどと連携し、働きやすい環境を整えています。	・職員に対して、ピアサポートについての知識の強化、向上と実践を図りたいと思っております。 ・利用者様が将来の就職先として考えてくださるよう、より良い施設を目指しています。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・バリアフリー(段差、階段)	・当事業所は2階建ての一軒家なので段差や階段があります。また借家なのでリフォームが難しいところがあります。	・昇り降りをする際は職員が側に付き、援助や見守りをしています。 ・改善できる箇所はスロープにするなどしてバリアフリー化に努めたいと思います。
2	・手話のできる職員が少ない	・職員募集の際に“手話のできる人”と人材をこだわっておりません。 ・聴覚障がいを持つ利用者様が増え、対応に追い付いておりません。	・職員は自ら手話の勉強をしたり、検定を受けたり、手話のできる職員に講座を開いてもらうなどして常々、手話の勉強をし、身に付けることができるよう努めています。
3	・ヒヤリハットへの意識	・ヒヤリハットへの気付きが依然と比べ少なくなっています。	・全ての支援においてヒヤリハットは重要になってくるので改めて意識の向上を図りたいと思います。